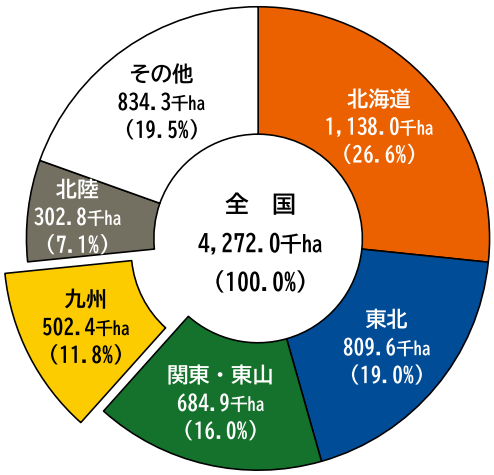
2．耕地面積　- Cultivated Land Area -

九州の耕地面積は全国の約12%

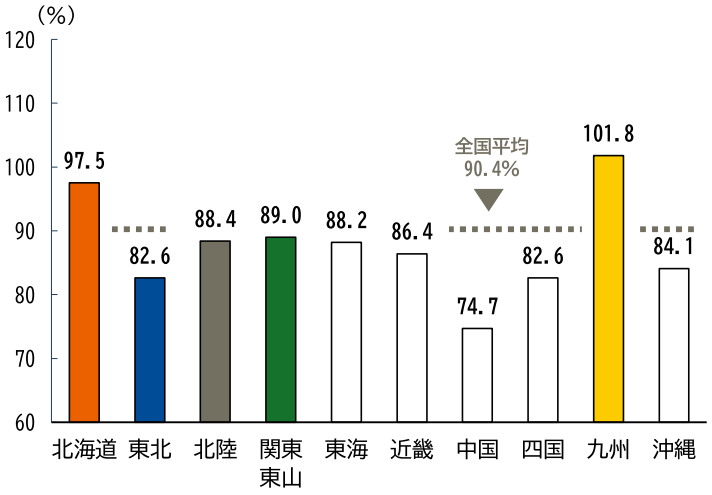
令和６年の九州の耕地面積は50万2,400haで、全国の11.8%を占めている。

一方、耕地利用率をみると、九州は101.8%で全国で最も高い水準にあり、全国平均（90.4%）を大きく上回っている。これは、他の地域に比べて二毛作が盛んであることなどが要因となっている。

農業地域別 耕地面積（令和６年）



農業地域別 耕地利用率（令和６年）



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（以下同じ）

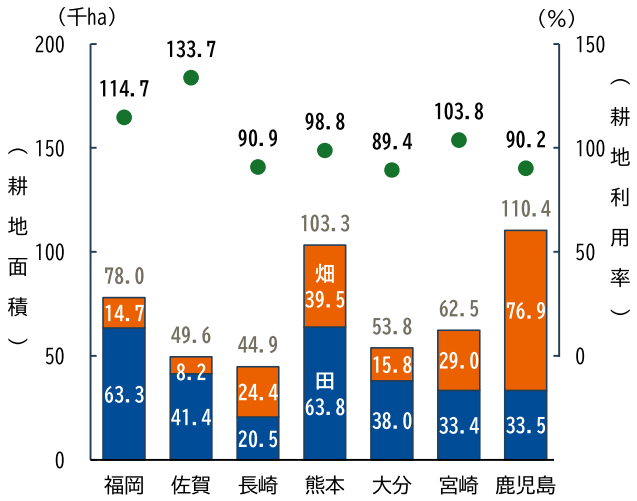
注　：耕地利用率は、（１年間の作付延べ面積÷耕地面積）×100%で算出し、この割合が高いほど耕地を有効利用しているといえる。

高い耕地利用率の一方で、耕地面積は減少傾向で推移

九州各県の耕地面積及び耕地利用率をみると、耕地面積では鹿児島県が11万400haで最も大きく、次いで熊本県（10万3,300ha）、福岡県（７万8,000ha）となっている。また、耕地利用率では佐賀県が133.7%で最も高く、次いで福岡県（114.7%）、宮崎県（103.8%）となっており、九州では５県が全国平均（90.4%）を上回り、特に佐賀県は全国１位となっている。

一方、直近20年間の耕地の拡張・かい廃の状況をみると、かい廃面積が拡張面積を大きく上回る状況が続いており、九州の耕地面積は20年前（平成16年）と比べて７万4,700ha（12.9%）減少している。

九州各県 耕地面積及び耕地利用率（ 令和６年 ）



拡張面積・かい廃面積及び耕地面積の推移（ 九州 ）

